

Welcome to the サイエンス・ワールド!!

2014, 10, 14 (火)
第84号

那覇市立教育研究所
理科通信



ノーベル物理学賞のメダル

～ 自然のバールを科学が明らかに ～



「ノーベル賞」は、ニトログリセリンを実用化し、ダイナマイトを発明したスウェーデンの科学者アルフレッド・ノーベルの遺言によって設立されました。ノーベルが発明したダイナマイトは、それまで使われていた火薬や爆薬より扱いやすく、爆発力も強く、土木工事が安全に進められるようになりました。

しかし、ダイナマイトの材料であるニトログリセリンは不安定で爆発しやすく、開発までにノーベルの弟や多くの人々が事故で亡くなりました。また、ダイナマイトは戦争でも使われ、多くの命が失われました。そんな中、兄が亡くなり、ノーベルと間違っって新聞に死亡記事が掲載されました。見出しに「死の商人、死す」とあり、それ以来ノーベルは自分の死後の評価を気にするようになったそうです。



ノーベル賞メダル（表）

そして、1895年に、ダイナマイトの発明で得た莫大な財産を、平和や科学の発展に使いたいと考え、世界の人々に役立つ研究や活動をした人に賞として贈るよう遺言を残しました。

第1回のノーベル賞は、ノーベルの死後5年経った1891年に贈られました。授賞式（賞状・メダル・小切手約1億2千万円）は、毎年ノーベルの亡くなった12月10日午後4時30分から行われています。

さて、ノーベル賞には、物理学賞、化学賞、生理学・医学賞、文学賞、平和賞、経済学賞の5部門があります。メダルの表は、全賞共通でノーベルの横顔が描かれています。



物理学賞/化学賞メダル（裏）

裏は、賞によって異なるようですが、物理学賞と化学賞のメダルは、同じデザインです（スケッチ画像：実際は金メダル）。これには2人の女神が描かれており、右側の科学の女神Scientia(スキエンティア)がバールを持ち上げて、自然の女神Natura(ナチュラ)の素顔を見ようとしています。これは、自然の真の姿をとらえようとする科学者の姿を象徴しているとのこと。 （文責：玉村かおり）